

### 【令和2年度決算 一般会計歳出の内訳】

※1万円未満切り捨て

1款 議会費	2億1,257万円	7款 商工費	7億4,045万円
2款 総務費	82億1,235万円	8款 土木費	22億2,577万円
3款 民生費	92億6,028万円	9款 消防費	9億2,776万円
4款 衛生費	22億2,778万円	10款 教育費	25億1,209万円
5款 労働費	2,539万円	11款 災害復旧費	1,925万円
6款 農林水産業費	5億7,789万円	12款 公債費	29億3,519万円

- 学校給食費滞納の現状と給食費徴収方法、未納者への対応について
- 給食費全学年無償化への見通しについて

### 【公債費】

- 公債費の今後の見通しについて

### 【一般会計支出全般】

- 不用額が多額になっている理由と未執行事業の検証、コナ収束後の行政サービスのあり方について

## 一般会計歳入

- 法人市民税減額の要因について
- 軽自動車税環境性能割増額と環境性能割交付金増額の要因について
- 地方交付税交付金の令和2年度の実態について
- 教育使用料減額の要因について
- 財政調整基金繰入金の運用状況と適切な基金残高について

## 一般会計反対討論

市税収入全体で約2億円の減額ですが、中でも増えているのが地方消費税交付金22・75%増の12億8300万円、法人事業税交付金2億円余など、新たな交付金として伸びていることは、国民の消費経済に的を絞った増税路線が垣間見える決算となりました。

「子育て支援拠点整備事業」の工事の遅れによる遅延損害金の支払い問題で2度の補正予算が修正される異常事態がありました。

市民には施設の全面使用に大きな迷惑をかけました。契約等で適切な対応能力の構築を求めます。

私どもは昨年度から3度、市内の様々な事業所、商店、保健所などを訪問し、実態と要望をお聞きしてコナ感染症対策について、執行部へ要望書を提出してきましたが、給付金支給の売り上げ減少率、基準50%という数値は高すぎます。事業が安心して継続できる十分な補償によって、感染症の収束を図ることが肝心です。

## 一般会計賛成討論

令和2年度の一般会計は、歳入において市税、地方交付税は減収したものの、国庫支出金は大幅に増加し、歳出では新型コナウイルス感染症対策などが、大幅に増加し、実質収支額を11億6900万円余りとし、財政調整基金による調整機能を発揮し、効率的な財政運営に努めた結果であると評価します。

主要な事業では、新型コナウイルス感染症対策として、公共施設等の感染防止対策をはじめ、子育て世帯への給付金や事業継続給付金など、経済対策も効果を上げています。また、西毛広幹道安中工区も開通し、沿線への企業誘致等にも期待するところです。

今後の財政運営は、社会保障関係費が増加する一方、法人市民税の税率引下げ、新型コナの影響などにより、歳入が減少する厳しい状況が予想されるため、事務事業の見直しを積極的に行い、歳出削減に取り組むよう要望します。

